

栗山町立角田小学校における土曜授業の取組内容

栗山町立角田小学校では、家庭や地域等との関わりを大切にした「地域とともにある学校づくり」の充実を重点に、年5回の土曜授業に取り組んでいます。

■ 年間スケジュール ■

回	実施日	内容	教育課程上の位置付け
①	4月15日	○クリーン作戦	学校行事（勤労生産・奉仕的行事）
②	5月27日	○授業参観日 ○畑・花壇作業	各教科 教科（生活科、理科）
③	8月26日	○通常授業 ○盲導犬講習会	各教科 総合的な学習の時間、生活科
④	9月30日	○通常授業 ○収穫祭	各教科 総合的な学習の時間、生活科
⑤	10月28日	○施設交流	学校行事（勤労生産・奉仕的行事）

■ 取組の概要 ■

外部人材を活用した「盲導犬講習会」の実施

第3回の土曜授業では、北海道盲導犬協会の方を講師に招き、盲導犬協会の活動内容を知ることを通して、福祉について考える「盲導犬講習会」を実施しました。



【手引き体験の様子】



【盲導犬に触れる児童の様子】

盲導犬を連れている人にはどのような対応をすればよいのかについての説明や実際に盲導犬に手引きされる体験などを通して、視覚障がいについて理解を深めました。

講演では、盲導犬のことを積極的に質問している児童の姿が見られました。

家庭や地域等と連携した「収穫祭」の取組

第4回の土曜授業では、米や野菜づくりに協力していただいた方に感謝の気持ちを表すとともに、1年間の学習の成果を家族に伝える「収穫祭」を実施しました。



【カレーライスづくりの様子】



【家族に説明している様子】

自分たちが育てた米や野菜でカレーライスを作り、調べたり、取り組んだりしてきたことを家族に話しながら一緒に味わいました。

米や野菜を育てて楽しかったことや感謝の気持ちを言葉で説明している児童の姿が見られました。

栗山町立継立小学校における土曜授業の取組内容

栗山町立継立小学校では、家庭や地域等との関わりを大切にした「地域とともにある学校づくり」の充実を重点に、年5回の土曜授業に取り組んでいます。

■ 年間スケジュール ■

回	実施日	内容	教育課程上の位置付け
①	6月17日	○新体力テスト等	各教科
②	7月1日	○ハローENJOYとの交流	学校行事（勤労生産・奉仕的行事）
③	10月28日	○移動理科教室等	各教科
④	11月18日	○しめ縄づくり	学校行事（文化的行事）
⑤	1月20日	○書き初め大会	学校行事（文化的行事）

■ 取組の概要 ■

外部人材を活用した「ハローENJOY」との交流

第2回の土曜授業では、栗山町の地域施設「ハローENJOY」の職員を講師として招き、地域施設の利用者との交流を通して、地産地消の大切さについて学ぶ「ハローENJOY」との交流を実施しました。



【手打ちうどんづくりの様子】



【会食の様子】

栗山町の地域施設の利用者と活動を通して交流を深めるとともに、栗山町でとれた農産物を利用したうどんづくりを通して、地産地消の大切さについて学ぶことをねらいとして実施しました。

施設の利用者が児童にねぎらいの言葉をかけている姿や、児童がうどんづくりの感想を楽しそうに説明している姿が見られました。

土曜授業の充実に向けた取組

日高町立里平小学校

○ 本校の土曜授業のねらい

土曜授業で生み出される時間を効果的に活用し、外部講師を招聘するなどした体験的な学習を取り入れた取組を行う。

○ 本校の土曜授業のポイント

- ・ 体験的な学習における外部講師を活用した出前授業を実施すること
- ・ 土曜授業で生み出される時間を活用し、保護者や地域の方と連携した教育活動を実施すること

食育における出前授業の実施

～日本醤油協会「しょうゆもの知り博士の出前授業」～

【取組の概要】

- 家庭科における調味料の学習との関連を図り、日本醤油協会から外部講師を招聘し、醤油の原料や作り方、香り、味についての体験的な学習を通して、日本の食文化について理解を深めた。

【子どもの声】

- みそと醤油の原料が同じ大豆であることを知り、おどろきました。大豆についてもっと知りたいです。
- 醤油の香りや味の不思議について興味をもったので、他の食材についても自分で調べてみたいと思いました。



【醤油の原料についての学習の様子】

読書活動における出前授業の実施

～北海道立文学館「文学館出前講座」～

【取組の概要】

- 北海道立文学館の「文学館出前講座」を利用して外部講師を招聘し、絵本の読み聞かせを音楽に合わせて行う「絵本パフォーマンス」を実施し、保護者や地域の方と共に鑑賞した。

【子どもや保護者の声】

- 絵本と音楽が合っていて、絵本がいつもよりおもしろくなったので、自分も工夫して読み聞かせをしてみたいと思いました。
- 土曜日で参加しやすく、子どもとも一緒に鑑賞することができ、読み聞かせのよさを実感し、家でも読み聞かせをもっと行いたいと思いました。



【絵本パフォーマンスの様子】

○ 土曜授業における成果

- ・ 土曜授業で生み出される時間を活用し、外部講師を招聘した体験的な学習の実施により、様々な分野に対して子どもの興味・関心を高めるとともに、見聞を広げることができた。
- ・ 学校の教育活動について保護者や地域の方と共有したことにより、連携を一層促進するとともに、保護者の読書活動への理解が深まり、家庭でも読書を推奨することにつながった。

「土曜授業」実践事例（平成 29 年度 年間 7 回実施）

【外部人材や地域の教育資源の活用】

北斗市立石別小学校

□ 本校の土曜授業のねらい

- ・本校は極小規模であり、多人数の中での発表や交流を行う機会が少なくなりがちである。
- ・本校は地域とのつながりが強く、様々な地域行事に児童が参加したり、学校行事へ地域の方々を積極的にのお招きしたりすることを通して、児童と地域の方々の触れ合いの場を設定し、自分を表現し積極的に他と関わるコミュニケーション能力の育成を目指している。

外部人材を活用した活動の充実

【取組の概要】

- ・地域連絡協議会との連携による児童と地域との交流活動を通して深まったつながりを生かし、児童が学習成果を発表し交流する学校行事「夏休み自由研究発表会」に地域の方々をお招きした。
- ・児童は地域の方を聞き手として意識することによって、目的意識・相手意識をもった言語活動の充実や資料活用の工夫が図られていた。「質問コーナー」に地域の方が積極的に関わってくださり、触れ合いの中で地域の方々とのコミュニケーションを図り、思いや考えを伝え合う活動への意欲が高まっていた。

【取組のポイント】

ポイント① 地域人材が学校の教育活動に積極的に関わっていただけるような場を設定すること

ポイント② 児童と地域の方々とのつながりをコミュニケーションへの意欲につなげること



【地域の声】

- ・自由研究は、かなり高度な内容から実践的な内容のものまで、テーマもバラエティに富んでいて、楽しく参観させていただきました。
- ・物怖じしない発表力に感心しつつ、各自が手助けする光景はとてもよかった。これからも「数より質」の成果を期待しています。

【成果と課題】

- 地域の方が来校し、児童の活動に関わることが増加するとともに、いろいろな方とふれ合うことで、児童のコミュニケーション能力の向上につながっている。
- 年間の土曜授業の予定は年度当初に保護者に周知しているが、土曜日は休業日と捉えている保護者も多いため、実施回数を増やすことが難しい。

留萌市立緑丘小学校

児童数：195名
教職員数：20名

□ 本校における土曜授業のねらい

授業を土曜日に実施することの利点を十分に生かし、外部人材を活用した豊かな体験活動の推進等により、子どもが学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる学習活動の充実を図る。

外部人材を活用した、子どもたちに音楽活動の楽しさを実感させる取組

【取組の概要】

- 1 イメージしながら楽しむ音楽劇の鑑賞**
 - ・音楽を専門的に学んでいる大学生による歌詞のない歌の音楽劇を見て、曲想や演奏者の演技から劇の内容を想像する。
- 2 専門家による楽器紹介**
 - ・音楽を専門的に学んでいる大学生に実際の楽器を見せてもらいながら、楽器の構造や音色などについて理解を深める。
- 3 楽しみながら参加するアンサンブルの鑑賞**
 - ・上手に演奏した場合とわざと下手に演奏した場合を聴き比べるなど、鑑賞を楽しみながらリズムや楽器の役割について考える。
- 4 ○○しながら歌う活動**
 - ・大学生が見本を見せ、ペアでジャンケンをしながら歌ったり、指示を出し合いながら歌ったりするなど、表現する活動を楽しむ。



【低学年の活動の様子】



【高学年の活動の様子】

【取組のポイント】

- より専門的な指導や「本物」を体験させるために、土曜授業の利点を生かし、地域の人的資源を計画的、効果的に活用する。
- 子どもたちに音楽活動の楽しさを実感させる取組が一つのイベントで終わることのないよう、日常の授業との関連を図ったカリキュラムを工夫する。
- 発達の段階に応じて体験活動を実施できるよう、低学年、中学年、高学年の3回に分けて実施する。

<保護者の声>

- ・子どもたちに「本物」を体験させたという学校や家庭の願いの実現に向け、とても充実した活動だったと思います。
- ・子どもたちが音楽活動の楽しさを実感することで、家庭においても身の周りの物を楽器にして遊ぶ姿が見られるなど、音楽を日常の生活に関連させて楽しむようになりました。

<子どもの声>

- ・大学生の上手な演奏を聴いて、自分も演奏してみたいと思った。(2年生)
- ・劇では、セリフや歌詞がないのに、曲を聴いただけで猫の悲しい気持ちやうれしい気持ちが分かって面白かった。(3年生)
- ・教科書でしか見たことがなかった楽器を実際に見ることができて、とても勉強になった。(5年生)
- ・アンサンブルでは、メロディやリズムなど、楽器の役割を考えて演奏する大切さが分かった。(6年生)

外部人材や地域の教育資源を活用した土曜授業の実践

<羅臼町立春松小学校>

□本校の土曜授業のねらい

外部人材や地域の教育資源の活用による学習内容の充実を図るとともに、異学年による縦割り活動の充実を図り子どもの豊かな人間関係を築いていく。

【実践の取組概要】

土曜日を活用して、大学生による国語の学習サポートを行うなど、外部人材を効果的に活用した取組を展開するとともに、子どもの学びの様子を家庭や地域に積極的に公開し、家庭、地域、学校が一体となって子どもを育てていく機運を高めている。

また、縦割り活動を設定し、異学年による交流を充実させることにより、子どもの豊かな人間関係の構築を図っている。このような活動により、学習意欲の向上はもとより、自己を表現したり他者を理解したりするなどの姿が見られるようになった。

【実践の取組ポイント】

ポイント① 外部人材を活用した活動の充実

ポイント② 保護者、地域住民への積極的な授業公開の実施

ポイント③ 縦割り班での協働的な活動の充実



【縦割り活動の様子】

子どもの声

- 「大学生が優しく勉強を教えてくれてうれしかった。」
- 「日頃、見に来られないおばあちゃんが学校に来てくれてよかった。」



【外部講師（大学生）との活動の様子】

保護者の声

- 「土曜日に地域の人材を外部講師として招くことができるのは、とても素晴らしいことだと思う」



【保護者、地域住民への授業公開の様子】